

E P O 中部運営業務

2021 年度 業務実施計画



中部環境パートナーシップオフィス運営業務 2021 年度業務一覧

EPO 中部／中部地方 ESD 活動支援センター

緑色：EPO 業務／水色：ESD 業務／朱色：地域循環共生圏業務／黄色：運営業務

※中部地方環境事務所、EPO は業務全体に関わる

年度目標

第5期に作成したツール・コンテンツの拡充と共に、地域循環共生圏づくり・SDGs 推進への支援システム（体制・仕掛け）を充実させます。

(1) 業務実施計画の作成及び公表

- 事務 第6期事業目標・事業計画の作成・公表
- 事務 2021 年度業務実施計画の作成・公表

(4) 協働取組の促進のための業務

- 催事 協働コーディネーターと連携したフォーラムの開催
- 催事 ローカル SDGs/ 地域循環共生圏グループワーキング
- 取組/ 催事 協働コーディネーターとの連携による実践的な取組（北陸）
- 取組/ 催事 協働コーディネーターとの連携による実践的な取組（信州）
- ツール 活動見える化プログラム活用による活動主体へのフィードバック

(7) ESD/EPO 行事（催事）を通じた行動変容の把握

- 取組 行動変容の把握（行事参加者への簡易ヒアリング）
- 取組 地域循環共生圏・ローカル SDGs 実践状況評価

(5) ESD 活動支援センター運営業務

- 事務 第6期 ESD 推進計画の策定
- 事務 全国 ESD センター関連会議への出席、地域 ESD 拠点登録支援等
- 催事 ESD/SDGs 推進ネットワーク地域フォーラムの開催
- 催事 ジオパーク等活用による ESD ダイアログの開催
- 取組/ 催事 交流機会提供：①活動計画の作成、②参加者募集、③勉強会・意見交換会の開催、④実践活動、⑤全国フォーラムで報告
- ツール ESD ワークブックの作成
- 事務 教育現場の実態把握ヒアリング（専門家、教育関係者）

事務 (9) 業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務

環境省
中部地方
環境事務所

GEOC

(2) ESD/EPO 運営
会議の開催・
運営
会議

全国ESDC

(3) 基本業務

- 事務 照会・相談対応、対話の体制の構築、定例報告、施設の維持管理
- ツール HP 更新、メルマガ発行、リーフレット作成・配布

(6) 域循環共生圏の創造に資するための推進業務

- 取組 プラットフォームの支援、ヒアリングの実施
- 催事 プラットフォーム意見交換会の実施支援、とりまとめ報告
- 取組 支援チーム派遣団体の情報共有
- 催事 森里川海推進ネットワーク形成会合（情報交換会）の開催
- ツール/ 取組 「資金調達のための SDGs 共感ストーリー」づくりWSプログラムの整理
- 催事 地域循環共生圏/パートナーシップ基盤強化事業（情報交換会・WS等の開催）
- 取組 担い手主体の把握・ネットワーク形成
- 事務 環境省・GEOC 主催会合への参加

(8) 関係主体との連携及び協働に関する業務

- 事務 定例打合せ、関係会議・主催行事等への出席、関係資料の準備
- 外部評価委員会への対応（出席、資料作成等）
- 白書を読む会の企画・広報協力、運営サポート
- 記者発表対応（記者発表資料等の作成）
- EPO・GEOC・全国 ESD センターのネットワーク活用、連携確保

(10) 外部資金を活用した事業 ※いずれも前々年度からの実施事業

○グリーン・ギフト・地球元気プロジェクト

【発注主体】日本NPOセンター

【対象主体】愛知：森の学び舎自然学校／三重：Joint Plus／福井：小原 ECO プロジェクト

○地球環境基金

【発注主体】環境再生保全機構

○愛知県コーディネート業務

【発注主体】愛知県

第6期目標

アフター・コロナ、地域循環共生圏づくり・SDGs 活用が進みつつある中部エリアにおいて、新フェーズに対応し、地域が必要とする協働・ESD・SDGs の実装・実践のための支援と、誰も取り残されないターゲット設定、EPO 機能強化の関係構築に取り組みます。

EPO 中部／中部地方 ESD 活動支援センター 2021 年度イベント展開案の検討資料

緑…EPO 業務

青…ESD 業務

橙…地域循環共生圏業務 (EPO 業務)

2021 基盤強化 情報交換会 a

【題材】未定

【場所 / 方法】石川県七尾市、オンライン

【関係】PF 能登、市、地元企業・金融機関、北陸財務局等

2021 年 8 月 交流機会提供：学びあい①

【場所 / 方法】オンライン

【話題提供】中部 ESD 拠点協議会、PEC とやま

【対象】全国の地域 ESD 拠点、ESD 関係者、企業 SDGs 担当者、等

2021 年 9 月 交流機会提供：学びあい②

【場所 / 方法】オンライン

【話題提供】福井県坂井市のまちづくり協議会、中部 ESD 活動支援センター

【対象】全国の地域 ESD 拠点、ESD 関係者、企業 SDGs 担当者、等

2021 年 10 月 交流機会提供：実践活動

【場所 / 方法】富山県射水市

【内容】六渡寺海岸の漂流ゴミ問題と SDGs

【関係】小矢部川、庄川流域の自治体、企業、民間団体等

2021 ESD ダイアログ

【題材】ジオパーク等を活用した ESD

【方法】オンライン

【関係】ユネスコパーク、ジオパーク、世界遺産、国立公園等地域・教育関係者

2021 年 6 月 基盤強化 情報交換会 d

【題材】ローカル SDGs

【場所 / 方法】長野県飯山市、オンライン

【関係】いいやま学びの里コミュニティカレッジ (商工会議所)、関東財務局等

2021 協働コーディネーターと連携による実践的取組 (全 2 回)

【場所 / 方法】長野県長野市、オンライン

【関係】協働コーディネーター：山室氏、長野県 NPO センター、長野市 (芋井地区) 等

2021 ESD ネットワーク地域フォーラム

【場所 / 方法】オンライン

【内容】SDGs 未来都市の交流

【関係】SDGs 未来都市の自治体、学生等

2021 年 7 月 白書を読む会

【会場 / 方法】名古屋市、オンライン

【関係】中部地方環境事務所、名古屋市 (なごや環境大学)

2021 森里川海情報交換会①

【題材】自然資源のワイズユース

【方法】オンライン

【関係】白山国立公園、白山 B R 関係者、関係自治体等

2021 森里川海情報交換会②

【題材】資金調達ワーキング

【方法】オンライン

【関係】白山国立公園、白山 B R 関係者、関係自治体等

2021 協働コーディネーターと連携による実践的取組 (全 2 回)

【場所 / 方法】福井県小浜市、オンライン

【関係】協働コーディネーター：中嶋氏、WAC おばま等

2021 協働コーディネーターと連携したフォーラム

【場所 / 方法】福井県越前市

【関係】協働コーディネーター：三田村氏、越前コウノトリ保全活用関連団体等

2021 基盤強化 情報交換会 b

【題材】未定

【場所 / 方法】岐阜県郡上市、オンライン

【関係】PF 郡上、市、地元企業・金融機関、東海財務局等

2021 基盤強化 情報交換会 C

【題材】脱炭素ロードマップ (予定)

【場所 / 方法】オンライン

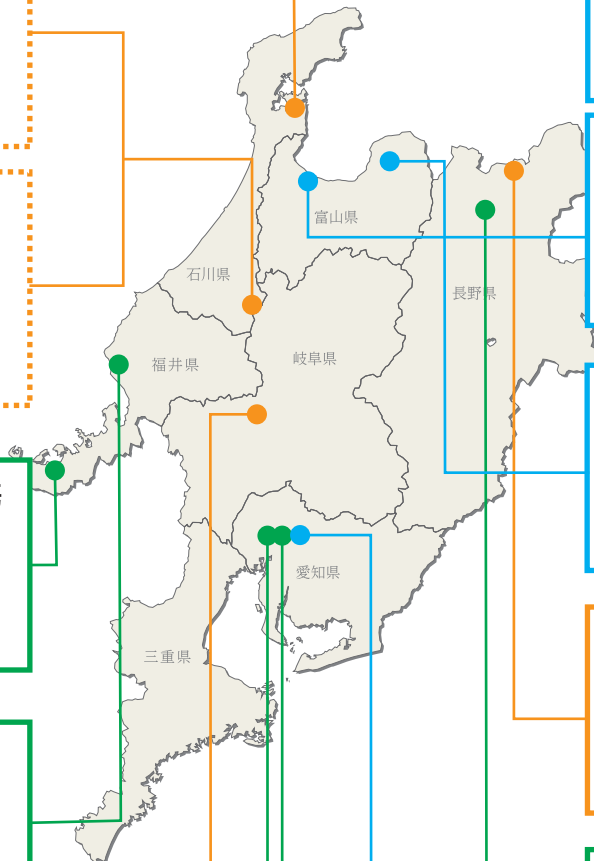
【関係】中部の自治体、金融機関、企業、東海・北陸・関東財務局 等

2021 年 地域循環共生圏グループワーキング

【題材】地域循環共生圏とローカル SDGs

【場所 / 方法】名古屋市内、オンライン

【関係】主に自治体職員等



2021年度業務スケジュール

仕様書業務項目	業務内容(イベント:オンライン活用・併用)		担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1 業務実施 計画作成・公表	1-1	第6期の事業目標・事業計画の作成・公表	富田	作成	運営会議への提示	修正→公開				実際のスケジュール反映		再掲載			
	1-2	令和3年度の業務実施計画の作成・公表	富田			修正→公開									
2 運営会議	ESD/EPO運営会議の開催・運営【2回】		清本、原、 富田、小松	資料作成、 開催準備・調整	運営会議1開催 (オンライン)	開催結果とりまとめ→公開					資料作成、 開催準備・調整		運営会議2開催 (オンライン)	開催結果とりま とめ→公開	
3 基本業務	3-1	HP(EPO、ESD)の更新維持管理	富田、小松	月2回以上の更新を適宜実施											実施・ 対応結果等 とりまとめ (全業務の年間報告書の提出)
	3-2	メールマガジンの作成・発行	小松	月1回以上の配信を適宜実施											
	3-3	リーフレットの作成・配布	富田、小松			第6期計画を反映した 原稿を作成	デザイン	印刷	新リーフレット完成・公開、配布開始						
	3-4	照会・相談対応、対話の体制の構築	清本、原、 富田、小松	適宜実施し、記録及び報告											
	3-5	定例報告	富田、小松	毎月初めに報告資料を集計・作成、提出											
	3-6	施設の維持・管理	富田、小松	適宜実施											
4 協働取組 の促進の ための業務	4-1	協働コーディネーターと連携したフォーラム開催【1回(3時間)】	清本、原、 富田、小松	各連携主体に ヒアリング ↓ 企画案等を作成	協働コーディネーターとの調整	関係地域・団体との調整・準備					フォーラム開催		運営会議2に 諮る		
	4-2	協働コーディネーターとの連携による実践的な取組【北陸2回・信州2回(各2時間)】			協働コーディネーターとの調整	関係地域・団体との調整・準備	フォーラム開催 北陸1、信州1	関係地域・団体との調整・準備		フォーラム開催 北陸2、信州2					
	4-3	活動主体へのフィードバック(活動の見える化プログラムの活用)【北陸1、信州1事例】			見える化Pヒアリング作成	フィードバック									
	4-4	ローカルSDGs/地域循環共生圏グループワーキング【1回(3時間)／愛知県内】			企画案作成		関係者との調整、準備		ワーキング開催						
5 中部地方 ESD活動 支援セン ター運営 業務	5-1	ESDワークブックの作成	原、小松	ブックの 企画検討	運営会議1 に諮る				コンテンツの作成				プロトタイプ 完成	実施・開催結果報告とりまとめ	
	5-2	ESD活動支援:第6期ESD推進計画の策定	原	計画策定		修正	公開(未定)								
	5-3	ESD/SDGs推進ネットワーク地域フォーラムの開催【1回(半日)／愛知県内】	原、富田、 小松	企画案作成				関係機関との調整・準備			フォーラム開催				
	5-4	全国ESDセンター運営会議【2回】、連絡会【2回】、全国フォーラム【1回】等に出席・参加	原	適宜対応											
	5-5	地域ESD拠点登録支援	原、小松	適宜実施											
	5-6	ジオパーク等活用(ESDダイアログの開催)【1回(2時間)】	原、富田、 小松				関係機関との調整・準備		ダイアログ開催						
	5-7-1	交流機会提供 ①活動計画の作成、②交流者の参加募集 ⑤全国フォーラム結果報告	原、小松	①活動計画 の作成		関係者との調整、 準備	②参加募集					⑤全国フォー ラム報告			
	5-7-2	交流機会提供 ③勉強会・意見交換会【2回(各1時間)】 ④実践活動【1回(2時間)】	原、富田、 小松	企画案等を作成				③勉強会・意見 交換会1	③勉強会・意見 交換会2	④実践活動					
	5-8	教育現場の実態把握と連携強化:①専門家【1名(2時間)】 ②教育関係者【2回(各2時間)】	原				ヒアリング実施 ①				ヒアリング実施 ②	ヒアリング結果のとりまとめ			

2021年度業務スケジュール

仕様書業務項目	業務内容(イベント:オンライン活用・併用)		担当	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
6地域循環共生圏の創造推進業務	6-1	プラットフォーム支援:採択団体、登録団体、過年度採択団体への支援、ヒアリングの実施	富田	各PFにヒアリング実施	とりまとめ報告	各団体のサポート計画(スケジュール・意向等)に応じて適宜支援						中間報告	次年度展開の事務局打合せ			成果報告
	6-2	プラットフォーム意見交換会の支援【2団体×1回(3時間)】、とりまとめ報告	清本、原、富田				実施方法等についてPFと調整			PF2団体それぞれで意見交換会開催		とりまとめ・報告				
	6-3-1	環境省・GEOC主催会合への参加:成果報告会【1回】、情報交換会【1回】、中間報告会【3回】	清本、富田	適宜参加												
	6-3-2	環境省・GEOC主催会合への参加:作業部会【2回】、共有会【3回】、ブロック別共有会【1回】	清本、富田	適宜参加												
	6-4	支援チーム派遣団体の情報共有	清本、原、富田	適宜実施												
	6-5-1	森里川海推進ネットワーク形成会合情報交換会【2回(2時間)】	富田	関係主体へのヒアリング	運営会議1に計画案等を諮る	関係団体との協議・調整		情報交換会1	関係団体との協議・調整	情報交換会2	運営会議2に報告					
	6-5-2	「資金調達のためのSDGs共感ストーリー」づくりWSプログラムの整理	原、富田				プログラム案作成	試験活用	調整・修正	試験活用	プログラム整理	完成・公開				
	6-6	地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化情報交換会【4回(各2時間)、飯山市で6月迄】	富田	関係主体へのヒアリング	企画案作成	準備	飯山市開催	関係機関等との調整、準備	脱炭素会合	準備	PF1エリア開催	準備	PF2エリア開催			
	6-7	GEOC事業主催会合への参加:検討会議【2回】、情報交換会【2回】	清本、富田	適宜参加												
6-8	担い手主体の把握・ネットワーク形成【2団体】	清本、原、富田							対象団体検討		ヒアリング実施	結果とりまとめ				
7行動変容の把握	7-1	行動変容の把握:行事参加者へのヒアリング(3月中旬までに)【6事例】	清本、原、富田									業務の連携・協力者6団体へのヒアリング、結果とりまとめ				
	7-2	SDGs実践状況等の評価【試行2事例】	原	計画案作成	運営会議1に諮る	SDGs等の実践状況等の評価方法整理	相談対応等あった団体2ケースでの試行実施					結果とりまとめ	運営会議2に諮る			
8関係主体との連携及び協働に関する業務	8-1	事務所担当官と業務の責任者として定期的な打合せ・報告、資料作成対応	清本、原、富田、小松	適宜実施(月1回以上の打合せ)												
	8-2	外部評価委員会への出席【1回】、資料作成対応								資料作成	外部評価委員会出席					
	8-3	白書を読む会の企画協力、広報協力、運営サポート		名古屋市との調整、協力事項確認	名古屋市側のスケジュール等に応じて適宜実施	白書を読む会開催										
	8-4	全国ユース中部大会に参画【1回】、審査委員の選定	清本				審査委員の推薦			ユース中部大会参加						
	8-5	記者発表等報道対応	富田	適宜実施												
	8-6	GEOC主催の全国EPO連絡会議【2回】、その他関連会議等への参加・協力	清本、富田	適宜参加												
9	業務実施における旅費及び謝金等の支払い業務		小松、小栗	適宜実施												
10外部資金を活用した事業	10-1	グリーン・ギフト・地球元気プロジェクト(イベント開催支援)	清本、小栗	日本NPOセンターの枠組みに則り適宜実施												
	10-2	地球環境基金	清本、小松	環境再生保全機構の枠組みに則り適宜実施				関係機関等との調整、準備		説明会開催						
	10-3	愛知県コーディネート業務【相談業務:10件/コーディネート業務:10件】	清本、服部	愛知県(環境局環境活動推進課)の仕様書に則り適宜実施												

EPO中部令和3年度事業アウトプット目標等一覧

仕様書業務項目			業務内容		担当	インプット(仕様書、計画書)			アウトプット(指標)			アウトカム		備考
						外部関係者とその役割	催事、情報発信	調査、研究、作成、支援	コンテンツ等、情報の発信、記録	設備・システム・知見など	参加者(数)、対象者(数)など	アウトカム指標(アウトプット評価に加え)	アウトカム(予想される成果)	
1	業務実施計画作成・公表	1-1	第6期の事業目標・事業計画の作成・公表	富田	・外部有識者：必要に応じて助言		・第6期事業の達成目標及び業務計画の作成 ・アウトプット、アウトカム目標、指標の検討	・第6期事業の達成目標及び業務計画の作成 ・第6期アウトプット、アウトカム目標	・第6期業務実施計画書 ・第6期アウトプット、アウトカム目標			・担当官、運営委員会等関係者によるEPO中部ESDC計画としての第6期全体の十分な認知 ・第6期全体評価の基本方針についての担当官、運営委員等の理解	・第6期業務遂行計画として事業推進の内容が見える化される。 ・事業全体についてアウトプット、アウトカムの評価が可能となる。	
		1-2	令和3年度の業務実施計画の作成・公表	富田	・外部有識者：必要に応じて助言		・令和3年度の業務実施計画の作成 ・アウトプット、アウトカム目標、指標の検討	・令和3年度業務実施計画書 ・令和3年度アウトプット・アウトカム目標一覧表	・令和3年度業務実施計画書 ・令和3年度アウトプット・アウトカム目標一覧表			・担当官、運営委員会等関係者による当年度EPO中部ESDC計画としての内容の十分な認知 ・各指標による評価の実施と説明による、担当官、運営委員等の理解	・令和3年度業務遂行計画として事業推進の内容が見える化される。 ・それぞれの業務についてアウトプット、アウトカムの評価が可能となる。	
2	運営会議		ESD/EPO運営会議の開催・運営【2回】	清本、原、富田、小松	・外部有識者：運営委員として議論参加、助言	・ESD/EPO中部運営会議(2回オンライン開催)	・9名程度の運営委員(6～3級相当)で構成 ・年1回以上、委員の情報(役職、所属)に変更がないか確認 ・運営委員に業務参画を促すための進捗状況情報を適宜提供	・会議資料、議事録			・各回7名以上の参加	・業務に活用された運営委員による有用な意見(議事録) ・業務に運営委員の積極的な参画を得た知見の活用(業務記録)	・運営委員より有用な意見をいただくとともに業務に積極的な参画を得て効果的な活動を展開に寄与する。	
3	基本業務	3-1	HP(EPO、ESD)の更新維持管理	富田、小松	・専門業者：相談(外注)		・HPの更新	・HPの更新	・HPのページ更新(月2回以上)		・ページビュー数(昨年度同水準以上)	・更新されたHPIに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・更新前よりよいHPデザイン ・HPIによるEPO、ESDCの認知の拡大と好感度の向上	
		3-2	メールマガジンの作成・発行	小松			・メールマガジンの作成・発行	・メールマガジンの作成・発行	・メールマガジン(月1回以上)		・発行部数(昨年度同水準以上)	・発行数の維持、コンテンツに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・HPIによるEPO、ESDCの認知の拡大と好感度の向上、掲載情報利用の拡大	
		3-3	リーフレットの作成・配布	富田、小松	・デザイン・印刷：外注		・リーフレットの作成・配布(印刷必要部数)	・リーフレットの作成・配布(印刷必要部数)	・リーフレット(必用に応じて情報更新A4フルカラー必要部数)		・配布数(昨年度同水準以上)	・配布部数の増加、リーフレットに対するご意見(運営会議委員ご意見など)	・リーフレットによるEPO中部ESDCの認知の拡大と好感度の向上	
		3-4	照会・相談対応、対話の体制の構築	清本、原、富田、小松	・外部の様々な活動団体：活動等参加先		・相談・照会対応と助言、実施内容の記録 ・各種協議会や地域活動等への参加と情報収集。マッチング支援や助言	・相談・照会の記録簿 ・協議会、地域活動、支援等の参加記録や取材記事 ・講師派遣の記録	・紹介・相談件数 ・資料収集数、記録件数、記事件数 ・講師派遣回数		・紹介・相談件数 ・資料収集数、記録件数、記事件数 ・講師派遣回数	・全体件数の増加、助言に対する実績 ・記録件数、記事件数の増加 ・講師派遣件数の増加	・紹介・相談による環境保全活動等への貢献 ・関連する情報の集積、連携・協働体制の構築、ノウハウの蓄積の推進	
		3-5	定例報告	富田、小松			・業務日報等の関連文書の作成と報告	・業務日報等の文書				・事務所担当官の状況把握と理解	・事務所担当官の状況把握と理解による全体業務の円滑な運営	
		3-6	施設の維持・管理	富田、小松			・施設の維持・管理			・良好な職場・業務空間		・職員、来訪者、利用者の施設空間に対する感想	・円滑な活動を支える職場・業務環境の維持	
4	協働取組の促進のための業務	4-1	協働コーディネーターと連携したフォーラム開催【1回(3時間)】	清本、原、富田、小松	・協働コーディネーター、地域関係者との連携	・フォーラム(オンライン、1回、3時間、30名程度)		・開催記録			・参加者30名程度	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
		4-2	協働コーディネーターとの連携による実践的な取組【北陸2回・信州2回(各2時間)】	清本、原、富田、小松	・協働コーディネーター、地域関係者との連携	・実践的取組(オンライン、4回程度(北陸2回程度、信州2回程度)、各2時間程度、30名程度)		・開催記録			・参加者30名程度、学識者1名参加 ・中間支援団体等との連携協働実績	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
		4-3	活動主体へのフィードバック(活動の見える化プログラムの活用)【北陸1、信州1事例】	清本、原、富田、小松	協働コーディネーター、地域関係者との連携		・活動内容のヒヤリングと活動見える化プログラム分析	・ヒヤリング記録(2事例) ・分析チャート(2事例)				・分析対象主体や関係者の感想、意見	・分析対象主体の取組構造とSDGs貢献の意義の認識の向上	
		4-4	ローカルSDGs/地域循環共生圏グループワーキング【1回(3時間)／愛知県内】	清本、原、富田、小松	・NPO、基礎自治体、事業者等	・グループワーキング(オンライン併設、1回、3時間程度、愛知県内会議室20名程度、講師1名(大学教授級))		・開催記録			・参加者20名程度、学識者1名参加	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
5	中部地方ESD活動支援センター運営業務	5-1	ESDワークブックの作成	原、小松	・有識者によるWG	・有識者によるWGディスカッション	・ワークブック作成のための調査、情報収集 ・「(仮)中部版ESDワークブック～学生・社会人のための地域社会SDGs実践」(プロトタイプ版)の作成	・ワークブックVr.1のコンテンツ	・関連する事例		・ワーキンググループ会合3回 ・参加者、有識者と実務者計3人	・ワークブックVr.1活用試行実績とご意見	・ワークブックVr.1の試行活用による社会ESDの促進	
		5-2	ESD活動支援：第6期ESD推進計画の策定	原	・運営会議委員		・第6期「中部地域ESD推進計画(仮称)」の策定		・第6期中部地域ESD推進計画					
		5-3	ESD/SDGs推進ネットワーク地域フォーラムの開催【1回(半日)／愛知県内】	原、富田、小松	・中部地方大学研究室、地方自治体、企業等	・ESD/SDGs推進ネットワーク地域フォーラム中部学生サミット【1回(半日)／愛知県内・オンライン】	活動分析へのSDGsチェックリストの概念活用	・開催記録			・フォーラム参加20名程度 ・講師(大学教授級、1名程度想定、現地参	・参加者の意識等(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
		5-4	全国ESDセンター運営会議【2回】、連絡会【2回】、全国フォーラム【1回】等に出席・参加	原	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター		・会議出席・参加による情報収集と整理(企画運営委員会(オンライン、2回程度、各半日)、全国・地方連絡会(オンライン、2回程度、各半日)、ESD推進ネットワーク全国フォーラム(オンライン、		・参加による記録等の情報共有			・中部ESD活動支援センター活動に反映させるべき知見の整理結果	・ESDの全国センター動向の把握	
		5-5	地域ESD拠点登録支援	原、小松	・地域ESD拠点関係者		・地域ESD拠点情報交流、ESD拠点登録支援				・ESD拠点登録数	・ESD拠点関係者の意見や感想(ヒヤリング)	・中部地方のESDネットワークの拡充	
		5-6	ジオパーク等活用(ESDダイアログの開催)【1回(2時間)】	原、富田、小松	・ジオパーク等、環境省地域資源 ・専門家等のゲスト：講演、話題提供、講	・「自然資産を活かした地域・人づくりESDダイアログ」の開催【1回】半日程度		・ダイアログ開催記録			・参加者20名程度 ・専門家1名(大学准教授級)	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・参加した関係者の意識向上、認知の拡大、知見の増加	
		5-7-1	交流機会提供 ①活動計画の作成、②交流者の参加募集 ⑤全国フォーラム結果報告	原、小松	・全国ESD活動支援センター、地域ESD活動支援センター、地域ESD拠点		・活動計画の作成 ・交流者の参加募集(全国センターのネットワークで調整) ・全国フォーラム結果報告(全国センターのネットワークで調整)	・活動計画書 ・活動報告書(全国フォーラム報告書)			・勉強会・意見交換会【2回(各1時間)】のべ20名 ・実践活動【1回(2時間)】20名	・参加者の意識(アンケート)、ご意見や感想(ヒヤリング、アンケート)	・実績のある社会人ESDの情報共有による「ローカルSDGsのためのESDの社会実装」への貢献	
		5-7-2	交流機会提供 ③勉強会・意見交換会【2回(各1時間)】 ④実践活動【1回(2時間)】	原、富田、小松	同上	・勉強会・意見交換会【2回(各1時間)】 ・実践活動【1回(2時間)】	同上				・勉強会・意見交換会【2回(各1時間)】のべ20名 ・実践活動【1回(2時間)】20名	同上	同上	
		5-8	教育現場の実態把握と連携強化：①専門家【1名(2時間)】 ②教育関係者【2回(各2時間)】	原	・SDGs、ESDに詳しい専門家 ・SDGs意思のある教育部局、教育委員会、現場の教員		・専門家への包括的ヒアリング(オンライン、2時間程度、1回、大学教授級1名想定) ・教育関係者へのヒアリング(オンライン、2時間程度、2回程度)	・ヒヤリング結果				・有意義な知見の入手	・ESD,SDGs専門領域との連携強化 ・ESD,SDGsの教育現場との連携強化	

EPO中部令和3年度事業アウトプット目標等一覧

仕様書業務項目		業務内容		担当	インプット(仕様書、計画書)			アウトプット(指標)			アウトカム		備考
					外部関係者とその役割	催事、情報発信	調査、研究、作成、支援	コンテンツ等、情報の発信、記録	設備・システム・知見など	参加者(数)、対象者(数)など	アウトカム指標(アウトプット評価に加え)	アウトカム(予想される成果)	
6	地域循環共生圏の創造推進業務	6-1	プラットフォーム支援:採択団体、登録団体、過年度採択団体への支援、ヒアリングの実施	富田	・採択団体、登録団体、過年度採択団体、取組関係者、GEOC		・環境整備プロセス支援(2団体程度、各2回程度現地支援)としての、構想策定・事業計画策定・ステークホルダーの組織化の各過程に応じた伴走支援(関係者との調整支援、会議運営にかかる助言、人材育成の支援、採択団体がマンダラ作成を通じて行う課題整理・協働取組の各過程の支援、事業発掘のプロセス支援) ・登録団体や過年度の採択団体への環境ローカルビジネスづくりの情報提供 ・年度当初の活動(新規採択)団体の事業目標及び年間計画等ヒアリング、ヒアリング結果、全団体支援計画等のGEOC提出	・伴走支援の記録 ・(新規採択)団体の事業目標及び年間計画等ヒアリング結果 ・全団体支援計画等(GEOC提出)	・地域循環共生圏取組みの伴走等支援についての知見	・環境整備のプロセスにかかる支援(2団体程度、各2回程度現地支援)	・担当官、専門家等の関係者のご意見や感想	・地域循環共生圏の取組に対する適切な伴走支援方法とその効果についての知見の蓄積	
		6-2	プラットフォーム意見交換会の支援【2団体×1回(3時間)】、とりまとめ報告	清本、原、富田	・採択団体、登録団体、過年度採択団体、取組関係者、GEOC	・各活動(採択)団体が行う環境整備を推進するための意見交換会(オンライン、2団体程度、各1回、3時間程度、30人程度)の後方支援、当日運営(進行、議事録の作成等、Web会議の場合の機	・開催結果を取りまとめとGEOCへの報告	・意見交換会等開催記録	・意見交換会見える化プログラム作成活用2件程度、概念活用3件程度	・意見交換会開催実績(オンライン、2団体程度、各1回、3時間程度、30人程度)	・参加者の意識、ご意見や感想(アンケート、ヒアリング)	・地域循環共生圏の取組理解の深化、出口戦略への意識化	
		6-3-1	環境省・GEOC主催会合への参加:成果報告会【1回】、情報交換会【1回】、中間報告会【3回】	清本、富田	・採択団体、登録団体、過年度採択団体、取組関係者、本省、GEOC		・環境省主催地域循環共生圏支援報告会等出席(オンライン、1回、2日、3月) ・GEOC主催情報交換会(オンライン、1回、2日、5月)、中間報告会(オンライン、3回程度、1回あたり3時間程度) ・中間報告会での活動(採択)団体の資料作成等支援と意見交換補佐		・参加による情報共有 ・資料作成等支援と意見交換補佐		・関係者のご意見	・採択団体との情報共有によるネットワーク形成	
		6-3-2	環境省・GEOC主催会合への参加:作業部会【2回】、共有会【3回】、ブロック別共有会【1回】	清本、富田	・採択団体、登録団体、過年度採択団体、取組関係者、本省、GEOC		・GEOC主催作業部会(オンライン、2回程度、1回あたり3時間程度)、共有会(オンライン、3回、1回あたり3時間程度)、ブロック別共有会(オンライン、地域ブロック毎に年に1回程度)参加		・参加による情報共有		・関係者のご意見	・採択団体との情報共有によるネットワーク形成	
		6-4	支援チーム派遣団体の情報共有	清本、原、富田	・支援チーム、派遣対象団体(2団体)		・支援チーム派遣(2団体)進捗状況把握 ・全国事務局請負者の求めに応じた制度設計に対する助言	・進捗状況把握の記録 ・助言の記録			・対象団体情報	・採択団体との情報共有によるネットワーク形成	
		6-5-1	森里川海推進ネットワーク形成会合情報交換会【2回(2時間)】	富田	・地域の一次産業・三次産業、さらに地域の自治体、企業、金融機関	・森川里海推進ネットワーク形成会合(情報交換会)の実施(オンライン、2回程度、2時間程度、30名程度、講師(大学准教授級、1名想定)		・森川里海推進ネットワーク形成会合記録		・参加者30名程度(各回)講師(大学准教授級、1名想定、各回)	・参加者の意識、ご意見や感想(アンケート、ヒアリング)	・森里川海運動の促進のための地域自然資源のワズユース重要性の共有、ネットワークの形成	
		6-5-2	「資金調達のためのSDGs共感ストーリー」づくりWSプログラムの整理	原、富田			「資金調達のためのSDGs共感ストーリー」づくりワークショッププログラム整理		「資金調達のためのSDGs共感ストーリー」づくりワークショッププログラム		・参加者の意識、ご意見や感想(アンケート、ヒアリング)	・「共感」を重視したワークショップ知見	
		6-6	地域循環共生圏パートナーシップ基盤強化情報交換会【4回(各2時間)、飯山市で6月迄】	富田	企業及び地域金融や経済団体	・情報交換会の開催(オンライン、4回程度、2時間程度、30名程度、講師(大学准教授級、1名想定)				・参加者30名程度(各回)、講師(大学准教授級、1名想定、各回)	・参加者の意識、ご意見や感想(アンケート、ヒアリング)	・地域循環共生圏の創造促進のための情報の共有、ネットワークの形成	
		6-7	GEOC事業主催会合への参加:検討会議【2回】、情報交換会【2回】	清本、富田	・GEOC		・事業検討会議に参加(オンライン、2回程度、3時間程度)		・参加による情報共有(オンライン、2回程度、3時間程度)		・関係者のご意見	・関係者との情報共有によるネットワーク形成	
		6-8	担い手主体の把握・ネットワーク形成【2団体】	清本、原、富田	・6-1から6-7の関係者		・地域循環共生圏に通じる担い手(団体等)について、把握し地域循環共生圏に関する情報を提供するほか、関係性を構築する(2団体程度)			・地域循環共生圏に通じる担い手団体関係性構築(2団体程度)	・地域循環共生圏に通じる担い手団体の意見や感想	・地域循環共生圏に通じる担い手団体の地圏構築意識の向上	
7	行動変容の把握	7-1	行動変容の把握:行事参加者へのヒアリング(3月中旬までに)【6事例】	清本、原、富田	・4から6の関係者		・行動変容のためのコアメンバーに対する簡易的ヒアリング(電話、メール等)	・行動変容のためのコアメンバーに対する簡易的ヒアリング結果		・行動変容のためのコアメンバーに対する簡易的ヒアリング(6事例程	・ヒアリング結果の分析と解釈	・地域循環共生圏構築行動など持続可能社会に貢献する行動変容	
		7-2	SDGs実践状況等の評価【試行2事例】	原	・関係する専門家等		・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の情報収集と活用 ・月次報告書の作成	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の情報収集結果 ・月次報告書	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の活用実践		・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の活用効果測定 ・関係者の意見	・地域SDGs評価メニュー、プログラム等の活用効果 ・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営	
8	関係主体との連携及び協働に関する業務	8-1	事務所担当官と業務の責任者などで定期的な打合せ・報告、資料作成対応	清本、原、富田、小松		・定期的打合せ(月1回以上)	・月次報告書の作成	・月次報告書			・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営	
		8-2	外部評価委員会への出席【1回】、資料作成対応	清本、原、富田、小松			・中部地方環境事務所開催会議への出席、資料作成対応	・対応資料			・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営 ・EPO中部ESDCに対する適正な評	
		8-3	白書を読む会の企画協力、広報協力、運営サポート	清本、原、富田、小松			・白書を読む会の企画運営サポート	・企画運営サポート記録			・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営	
		8-4	全国ユース中部大会に参画【1回】、審査委員の選定	清本			・全国ユース大会への参画、審査委員選定	・全国ユース大会参画、審査委員選定記録		・審査委員選定	・関係者の意見	・中部地方環境事務所との協働による円滑な運営	
		8-5	記者発表等報道対応	富田			・プレスリリース資料の作成、実施(必用に応じて)	・プレスリリース資料(必用に応じて)		・プレスリリース(必用に応じて)	・関係者の意見	・EPO中部の認知度の向上	
		8-6	GEOC主催の全国EPO連絡会議【2回】、その他関連会議等への参加・協力	清本、富田	・GEOC:全国EPO連絡会議開催	・GEOC主催の全国EPO連絡会議【2回】、その他関連会議等への参加・協力			・全国情勢の情報		・関係者の意見	・GEOC事業への協力	
9	業務実施における	旅費及び謝金等の支払い業務		小松		・適正な支払い		・支払い記録			・会計部署の承認	・適正支出の明確化	
10	外部資金を活用した事業	10-1	グリーン・ギフト・地球元気プロジェクト(イベント開催支援)	清本									
		10-2	地球環境基金	清本、小松									
		10-3	【相談業務:10件／コーディネート業務:10件】	清本、原									